

# 2007(平成19)年度 第23期事業報告書

自 2007(平成19)年4月  
至 2008(平成20)年3月

財団法人 日中医学協会



# 目 次

## 事業報告の部

・ 研究助成事業	
1. 日中笹川医学研究者制度	
1) 第30期研究者の受け入れ .....	1
2) 第16期特別研究者の受け入れ .....	1
3) 中国衛生部研究者視察団の招請 .....	2
4) 同学会活動に対する協力 .....	2
5) 日中笹川医学研究者制度20周年記念行事 .....	3
6) 日中笹川医学奨学金制度協定書調印 .....	4
7) 日中笹川医学奨学金制度要綱調印 .....	4
8) 日中笹川医学奨学金制度第31期生募集について .....	4
9) 次期奨学金制度・20周年記念事業に関する協議 .....	4
2. 共同研究助成事業	
1) 2007年度助成 .....	8
調査・共同研究助成 .....	8
中国人研究者招聘助成 .....	9
日本人専門家派遣助成 .....	9
在留中国人研究者研究助成 .....	9
2) 2008年度募集 .....	10
3) 委員会の開催 .....	10
3. 金原記念日中医学交流基金による研究助成 .....	10
・ 学術会議開催	
1. 主催事業 .....	10
2. 共催・後援事業 .....	11
・ 日中医療保健協力	
1. 中日友好病院に対する協力 .....	11
2. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力 .....	11
3. 「中医美容と健康」研究プロジェクト .....	11
4. 学術交流に対する協力 .....	11
・ 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行 .....	12
2. 「NEWS LETTER」の発行 .....	13
3. ホームページの拡充 .....	13
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力 .....	13
5. 委員会の開催 .....	13

## 総務報告の部

・ 役員を選任について	
1. 理事の選任 .....	14
2. 監事の選任 .....	14
3. 役員を選任について .....	14
4. 理事長の選任 .....	14
5. 常任理事の選任 .....	15
6. 評議員の選出 .....	15
7. 名誉会員の推戴について .....	15
8. 顧問辞任の件 .....	16
・ 会員拡大と募金活動について	
1. 会員数の推移 .....	16
2. 募金活動 .....	16
・ 協会運営に係る事項	
1. 理事会・評議員会の開催 .....	16
2. 常任理事会の開催 .....	17
3. 各運営委員の委嘱 .....	17
4. 日本財団の補助金について .....	18
資 料	
日中笹川医学研究者制度第30期研究者名簿 .....	19
日中笹川医学研究者制度第16期特別研究者名簿 .....	20
日中笹川医学奨学金制度協定書 .....	21
日中笹川医学奨学金制度要綱 .....	22
監査報告書 .....	24

## 事業報告の部

### ・研究助成事業

#### 1. 日中笹川医学研究者制度

1996年8月14日、日中医学協会岡本道雄会長、笹川記念保健協力財団日野原重明理事長、中国衛生部殷大奎副部長により調印された「笹川医学奨学金制度」第2次10年計画による1,000名の中国医学研究者の招聘事業が、日本財団の助成により実現した。

その最後の招請事業となる第30期研究者82名と第16期特別研究者20名を、2007年4月から1年間実施した。

#### 1) 第30期研究者の受け入れ

##### 入 国

2007年4月3日	81名来日
4月4日	オリエンテーション 歓迎式典・歓迎レセプション
4月5日	研究地へ移動

(名簿後掲)

##### 帰 国

2008年3月24日	研究修了式
3月26日	78名帰国

(北京44名、上海34名)  
来日中止：1名、早期帰国：3名

#### 第20回箱根セミナー

日 時：2007年11月16日 ~ 18日

場 所：ホテル箱根アカデミー

参加者：第30期研究者 76名

衛生部視察団、日本財団、笹川記念保健協力財団、日中医学協会役員等25名

概 要：17日のセミナーでは、まず森亘日中医学協会会長、任明輝衛生部国際合作司副司長の挨拶の後、笹川陽平日本財団会長が講演した。引き続き「よりよい研究生活を送るために」をテーマに、平田温理事を座長に進行。9月に実施した第30期研

究者へのアンケートをもとに、日本での研究状況、生活状況について出席の役員・委員を交え討論が行われた。

外国医師・外国歯科医師臨床修練取得状況  
(厚生労働省医政局医事課試験免許室審査)

2007年7月9日許可 14名

李 玉琴	医師	東京大学医学部附属病院
劉 新宇	医師	日本医科大学附属病院
袁 益明	医師	順天堂大学医学部附属順天堂医院
胡 洋	医師	慶應義塾大学病院
崔 勇	医師	慶應義塾大学病院
甘 雲娜	歯科医師	新潟大学医歯学総合病院
徐 貴平	医師	山梨大学医学部附属病院
陳 燕	医師	信州大学医学部附属病院
張 旻	歯科医師	大阪大学歯学部附属病院
邱 紅	医師	大阪市立大学医学部附属病院
張 小橋	医師	大阪医科大学附属病院
周 成斌	医師	神戸大学附属病院
羅 開忠	医師	広島大学病院
劉 勇	医師	九州大学病院

2007年8月13日許可 1名

何 雁冰 医師 岐阜大学医学部附属病院

2007年9月5日許可 1名

李 玉・ 医師 京都大学医学部附属病院

#### 2) 第16期特別研究者の受け入れ

##### 入 国

2007年4月3日	20名来日
4月4日	オリエンテーション・ 歓迎式典・歓迎レセプション
4月5日	研究地へ移動

(名簿後掲)

研究報告会・研究修了式

日 時：2008年3月19日 12:15 ~ 19:00

場 所：日本財団ビル 2階大会議室A

出席者：役員・委員・指導責任者等 46名  
第16期特別研究者 18名

概 要：平田温理事を座長に、特別研究者18名が1年間の研究成果を発表した。研究修了式では森亘会長から研究者全員に研究修

了証が授与され、歓送会では笹川陽平日本財団会長らと交え懇談した。

#### 帰 国

2名：2007年6月30日（研究期間が3か月のため）

18名：2008年3月20日 以降各自帰国。

#### 3) 中国衛生部研究者視察団の招請

・次期奨学金制度に関する会議の帰路、長崎に立ち寄り研究者の状況を視察した。

期 間：2007年8月3日～4日

概 要：長崎大学を訪問、河野茂医学部長を表敬、原爆後障害医療研究施設を視察した。

構 成：王 立基 国際合作司副司長  
盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
于 修成 科技教育司助理監視員  
原 晋林 国際交流与合作中心  
戴 維 国際交流与合作中心職員

・第30期研究者・第16期特別研究者の状況視察、受入機関との交流を深めるため来日した。

期 間：2007年11月15日～19日

概 要：滞在期間中、国立がんセンターを視察、箱根セミナーにも出席した。

構 成：任 明輝 国際合作司副司長  
李 明柱 国際合作司亜非処副処長  
吳 沛新 科技教育司技術評価と推广処副処長  
戴 維 国際交流与合作中心職員

#### 4) 同学会活動に対する協力

・笹川医学奨学金進修生同学会学術交流会

テーマ：臨床検査、放射線、画像(診断)、公衆衛生、リハビリテーション医学

日 時：2008年1月12日 08:30～18:30

開催地：江蘇議事園酒店(江蘇省南京市)

特別講演：

康 熙雄 首都医科大学教授

「Development and evolution of laboratory diagnosis」

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

「日本と中国の公衆衛生と科学の発展」

日本から協会、笹川財団、日本財団の役員並び

に指導責任者ら20名が参加、中国側は同学会員、衛生部関係者ら80名が参加した。11名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

#### ・同学会役員との懇談

日 時：2007年8月25日 16:00～17:00

場 所：大方飯店(北京市)

出席者：

同学会：

孫 貴範 理事長  
胡 小濛 副理事長  
李 忠金 弁公室主任

日中医学協会：

森岡恭彦 理事長  
比留間聡 事務局長

笹川記念保健協力財団：

紀伊國献三 理事長  
槇 洽子 日中医学奨学金制度室室長

議 題：新しい奨学金制度について、同学会に対する監査等への理解と対応。

#### ・同学会役員との事務レベル協議

日 時：2007年11月2日 09:30～17:00

場 所：日本財団

出席者：

同学会：

孫 貴範 理事長  
李 忠金 弁公室主任

日中医学協会：

比留間聡 事務局長  
磯野真知子 業務課長

末原珠生 担当職員

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームリーダー

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

伊藤広毅 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

笹川記念保健協力財団：

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室室長

八百板喜美 総務課職員

議 題：

1. 2008年度同学会活動計画
2. 規約改正案のポイントと改正案に対する会員からの反応
3. 今後の同学会活動計画

#### 5) 日中笹川医学研究者制度20周年記念行事

日中笹川医学研究者制度実施20周年を記念し、2007年8月26日、人民大会堂及び中国大飯店に於いて、中国衛生部、日本財団、笹川記念保健協力財団と共同で記念行事を実施した。

#### ・同学会会員大会(同学会主催事業)

時 間：09:00～10:00

場 所：中国大飯店会議大庁

出席者：589名(同学会会員)

概 要：新執行部体制、新会則案(2008年1月決定)について提案。意見を求めた。

#### ・経験交流会(同学会主催事業)

時 間：10:30～11:30

場 所：中国大飯店会議大庁

出席者：中国側：589名(同学会会員)

日本側：394名

(指導責任者：266名、同伴者：128名)

概 略：研究者代表2名と指導責任者代表1名が講演した。

李 永国 湖南旺旺医院院長(第1期生)

『良い医者になること、良い病院を作ること』

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授(指導責任者代表)

『笹川研究者の思い出と抗不整脈薬の研究』

李 平 中日友好医院

臨床医学研究所副所長(第11期生)

『笹川研修生の夢』

#### ・20周年記念特別講演

時 間：14:00～16:00

場 所：人民大会堂金色大庁

概 略：日中両国の医学の現状と今後を示した特別講演は、中国で医療の担い手となり活躍している笹川医学研究者の今後の研究活動に役立つ有意義なものであり、日中双方の出席者に深い感銘を与えるものであった。

日本側：森岡恭彦 日中医学協会理事長

『日本の医療の現状とその課題』

中国側：殷 大奎 中国医師協会会長

『SARS危機からみる医学と公衆衛生の結合』

#### ・20周年記念式典

時 間：16:00～18:30

場 所：人民大会堂金色大庁

概 略：日中双方約1,200名が出席、来賓として韓啓徳全人代常務委員会副委員長、森喜朗衆議院議員・元内閣総理大臣、尾身茂WHO西太平洋地域事務局長にご臨席いただいた。

陳竺衛生部部長は、挨拶の中で本制度を高く賞賛した。笹川陽平日本財団会長が、この制度は日本と中国の交流に広がりを与え、時間をかけて継続して努力することが大事であると述べた。

次 第：

祝辞 韓 啓徳 全国人民代表大會  
常務委員会副委員長

挨拶 陳 竺 衛生部部長

祝辞 森 喜朗 衆議院議員・元内閣総理大臣

挨拶 笹川陽平 日本財団会長

挨拶 森 巨 日中医学協会会長

祝辞 尾身 茂 WHO西太平洋地域事務局長

謝辞 趙 群 中国医科大学学長(研究者代表)

中国衛生奨・功勞獎授与式

・中国衛生奨

尾形武寿 日本財団理事長  
森岡恭彦 日中医学協会理事長  
紀伊國献三 笹川記念保健協力財団理事長

・ 功労奨

中国衛生部と日本側3団体は本制度運営に特に貢献のあった日中両国の機関・個人に対し功労奨を贈った。

・ 研究者の最多受入指導責任者

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター部長  
加我君孝 東京医療センター臨床研究センター長  
花岡一雄 JR東京総合病院院長

・ 研究者の最多受入機関

東京大学 小宮山宏総長  
国立がんセンター 廣橋説雄総長  
東京女子医科大学 宮・俊一学長

・ 研究者の最多派遣機関

中国医科大学 趙 群学長

・ 長期にわたり本制度運営に功績のあった方

孫 貴範 同学会会長  
馬 正宜 同学会元職員  
李 霞 衛生部吉林大学日語培訓中心主任  
路 振富 衛生部中国医科大学日語培訓中心主任  
中島 章 元日中医学協会理事長  
阿部淑子 元日中医学協会事務局長

・ 記念撮影

於：人民大会堂北大庁

・ 20周年記念晩餐会

人民大会堂大宴会ホールで開催した。陳竺衛生部部長、森喜朗元内閣総理大臣が挨拶した。

晩餐会では、会場の至る所で師弟の感動の再会と新たな交流が生まれた。

6) 日中笹川医学奨学金制度協定書調印

2007年8月26日、人民大会堂において日中笹川医学奨学金制度調印式が行われ、笹川陽平日本財団会長と陳竺衛生部部長が協定書に調印した。本制度は、これまで20年間に亘って行われた「日中笹川医学研究者制度」に続く第三次奨学金ともいふべきものであり、中国の若手の医学・医療関係

者の中から21世紀を担う指導者となりうる優秀な人材を育成することを目的としている。運営は日中医学協会、笹川記念保健協力財団、衛生部国際合作与交流中心が行うこととなった。

7) 日中笹川医学奨学金制度要綱調印

2007年12月27日、日中医学協会、笹川記念保健協力財団、衛生部国際合作与交流中心は、日中笹川医学奨学金制度事業を推進するため、日中笹川医学奨学金制度要綱に調印した。

8) 日中笹川医学奨学金制度第31期生募集について

新制度による研究者(第31期生)の募集を、2008年1月16日から開始した。要綱に基づき、中国国内における募集業務は、衛生部国際交流与合作中心が行った。協会は大学・研究機関、元指導責任者に募集開始通知の発送、ホームページによる告知を行った。

9) 次期奨学金制度・20周年記念事業に関する協議

20周年記念行事に関する事務レベル協議

日時：2007年4月25日 09:00～14:20

場所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

李 明柱 国際合作司亜非処処長  
盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
李 彦兵 国際合作司亜非処職員  
呉 沛新 科技教育司副処長  
戴 維 国際交流与合作中心職員  
蔡 福軍 中日友好病院外事処副処長  
李 忠金 笹川医学奨学金進修生同学会理事  
池 順姫 笹川医学奨学金進修生同学会職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長  
末原珠生 担当職員  
周 思思 担当職員

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームリーダー

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

笹川記念保健協力財団

楨 洽子 日中医学奨学制度室長

議 題：

- ・会場、日程、行事内容について

次期奨学金制度に関する事務レベル協議

日 時：2007年4月25日 14:30～17:50

場 所：衛生部会議室

中国衛生部：

李 明柱 国際合作司亜非処処長

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長

李 彦兵 国際合作司亜非処職員

于 修成 科技教育司助理監視員

吳 沛新 科技教育司副処長

原 晋林 国際交流与合作中心副主任

戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

周 思思 担当職員

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームリーダー

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

笹川記念保健協力財団

楨 洽子 日中医学奨学制度室長

議 題：

- ・次期奨学金制度について

次期奨学金制度に関する事務レベル協議

日 時：2007年5月31日 13:15～16:40

6月1日 10:45～11:40

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長

李 彦兵 国際合作司亜非処職員

于 修成 科技教育司助理監視員

原 晋林 国際交流与合作中心副主任

戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会：

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

周 思思 担当職員

議 題：

- ・次期奨学金制度の実施期間について
- ・内諾について
- ・面接試験について

20周年記念行事に関する事務レベル協議

日 時：2007年5月31日 09:00～12:00

6月1日 09:00～10:45

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長

李 彦兵 国際合作司亜非処職員

于 修成 科技教育司助理監視員

戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会：

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

周 思思 担当職員

議 題：

- ・記念行事実施事業の名称
- ・日程について

次期奨学金制度に関する打合せ

日 時：2007年6月8日 18:00～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：安達 勇 常任理事

出月康夫 常任理事

酒谷 薫 常任理事

橋本敬太郎 常任理事

阿部淑子 アドバイザー

比留間聡 事務局長

磯野真知子 担当課長

末原珠生 担当職員

議 題：

- ・面接試験実施について
- ・内諾取得について

・選考プロセスについて

次期奨学金制度に関する衛生部との協議

日 時：2007年7月10日 14:00～17:00

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
李 彦兵 国際合作司亜非処職員  
于 修成 科技教育司助理監視員  
原 晋林 国際交流与合作中心副主任  
戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

橋本敬太郎 常任理事  
比留間聡 事務局長  
末原珠生 担当職員

議 題：

- ・面接試験について
- ・内諾について
- ・語学研修について

20周年記念行事に関する衛生部との協議

日 時：2007年7月11日 09:00～12:00

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
李 彦兵 国際合作司亜非処職員  
于 修成 科技教育司助理監視員  
戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

橋本敬太郎 常任理事  
比留間聡 事務局長  
末原珠生 担当職員

議 題：

- ・会場、宿泊、食事について
- ・VIPの中国入国について
- ・経費について

衛生部との協議

日 時：2007年7月18日 09:30～18:10

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

王 立基 国際合作司副司長  
于 修成 科技教育司助理監視員  
盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
李 彦兵 国際合作司亜非処職員  
李 忠金 笹川進修生同学会事務局長  
池 順姫 笹川進修生同学会事務局職員  
蔡 福軍 中日友好病院外事処副処長  
王 玉華 中日友好病院外事処職員  
戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長  
磯野真知子 業務課長

日本財団

尾形武寿 理事長  
三浦一郎 常務理事  
吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームチームリーダー  
依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

胡 一平

笹川平和財団  
笹川日中友好基金事業室主任研究員

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長  
槇 洽子 日中医学奨学制度室室長

議 題：

- ・20周年記念行事について
- ・次期奨学金制度について

衛生部と次期奨学金制度に関する協議

日 時：2007年8月2日 10:00～12:00

場 所：日本財団会議室

出席者：

中国衛生部：

王 立基 国際合作司副司長  
盧 国萍 国際合作司亜非処副処長  
于 修成 科技教育司助理監視員  
原 晋林 国際交流与合作中心  
戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

森岡恭彦 理事長

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

日本財団

尾形武寿 理事長

三浦一郎 常務理事

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームチームリーダー

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

伊藤広毅 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

胡 一平 笹川平和財団  
笹川日中友好基金事業室主任研究員

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室室長

八百板喜美 担当職員

議 題：

- ・次期奨学金制度について
- ・20周年記念行事について

20周年記念行事に関する事務レベル会議

日 時：2007年 8月 2日 13:30～16:15

場 所：日本財団会議室

出席者：

中国衛生部：

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長

原 晋林 国際交流与合作中心副主任

戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

周 思思 担当職員

日本財団

吉田哲朗 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チームチームリーダー

依田弘美 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

伊藤広毅 公益・ボランティア支援グループ  
福祉チーム職員

笹川記念保健協力財団

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室室長

八百板喜美 総務課職員

議 題：

- ・20周年記念行事実施協定書について

次期奨学金制度について

日 時：2007年 8月 2日 16:30～18:15

場 所：日本財団会議室

出席者：

中国衛生部：

王 立基 国際合作司副司長

盧 国萍 国際合作司亜非処副処長

于 修成 科技教育司助理監視員

原 晋林 国際交流与合作中心副主任

戴 維 国際交流与合作中心職員

日中医学協会：

杉本恒明 日中笹川研究者制度検討委員会委員長

加我君孝 常任理事

橋本敬太郎 中国医学研究者委員会委員長

比留間聡 事務局長

磯野真知子 担当課長

末原珠生 担当職員

周 思思 担当職員

笹川記念保健協力財団：

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室室長

八百板喜美 担当職員

議 題：

- ・募集、選考方法について
- ・内諾について

笹川医学奨学金制度検討委員会

日 時：2007年 8月10日 18:00～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：

委 員：

杉本恒明 委員長

出月康夫 副委員長

池谷田鶴子、山本敏行、高橋美智

オブザーバー：

森岡恭彦(日中)、紀伊國献三(笹川)、

吉田哲朗、依田弘美(日本財団)

事務局

日中医学協会

阿部淑子、比留間聡、磯野真知子、末原珠生

笹川記念保健協力財団

松本源二、槇 洽子

議 題：

・次期奨学金制度協定書、要綱について

衛生部との事務レベル協議

日 時：2007年11月13日 09:30～12:00

場 所：衛生部会議室

出席者：

中国衛生部：

李 明柱 国際合作司亜非处处长

原 晋林 衛生部国際交流与合作中心副主任

戴 維 衛生部国際交流与合作中心職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

議 題：

・日中笹川医学奨学金制度要綱について

・初年度の実施方法について

衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

日 時：2008年1月15日 09:30～13:00

場 所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡1部部長

戴 維 民間連絡1部職員

日中医学協会

比留間聡 事務局長

末原珠生 担当職員

議 題：

・日中笹川医学奨学金制度募集について

・今後のスケジュールについて

## 2. 共同研究等助成事業

### 1) 2007年度助成

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受け

て実施。2007年度は58件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により4区分23件に助成した。

調査・共同研究助成

新型インフルエンザに関する中国農村部住民の住環境と予防意識の調査

蓋 若・ 東京大学大学院医学系研究科

国際保健計画学大学院生

徐 凌忠 山東大学公衆衛生学院

社会医学と衛生管理研究所所長

中国におけるHEVの感染状況調査

李 天成 国立感染症研究所ウイルス第二部主任研究官

柯 昌文 中国広東省疾病コントロールセンター

微生物検査研究所所長

中国南部のEBウイルス関連上咽頭癌発症におけるiNOS依存症DNA損傷との関係

馬 寧 徳島大学医学部

発生発達医学講座・機能解剖分野准教授

黄 光武 広西医科大学耳鼻咽喉科教授

磁気温熱により誘導される抗腫瘍免疫に関する研究

大槻勝紀 大阪医科大学医学部解剖学教室教授

唐 勁天 清華大学医学物理工程研究所副所長

浙江省寧波近辺地区における元石綿作業従事者のコホート調査

森永謙二 労働安全衛生総合研究所

環境計測管理研究グループ部長

張 幸 浙江省医学科学院衛生学研究所院長/所長

ペプチドミクスを用いた膠原病病態関連ペプチドの日中患者間相違性の解析

加藤智啓 聖マリアンナ医科大学大学生化学教室教授

向 陽 湖北民族学院医学院

附属医院風湿病研究所主任

薬物性腎障害におけるギャップ結合を介した細胞間コミュニケーションの役割

姚 建 山梨大学医学工学総合研究部

分子情報伝達学講座准教授

万 毅剛 南京大学医学院

附属鼓楼病院漢方医学科助教授

新規抗体を用いたヒトES細胞から血液細胞への分化の解析

辻浩一郎 東京大学医科学研究所細胞療法准教授  
張 学光 蘇州大学医学生物技術研究所教授/副校長  
HBV genotype C/D hybridの臨床的・ウイルス学的特徴の解析

田中靖人 名古屋市立大学大学院  
医学研究科臨床分子情報医学分野准教授

王 戦会 南方医院感染症科研究員

中国における重症喘息の気道病態の解明と治療法の検討

山内広平 岩手医科大学医学部第三内科准教授

安 昌善 延辺大学医学院附属病院呼吸器内科教授

中日両国における歯周疾患の罹患状況と質問紙調査から導かれる予防策の検討

小関健由 東北大学大学院歯学研究科  
口腔保健発育学講座予防歯科学分野教授

胡 徳渝 四川大学華西口腔医学院  
口腔予防教研室教授

歯周炎・糖尿病などの生活習慣病実態調査と住民参加型予防プロジェクトの開発

鈴木基之 昭和大学歯学部歯周病学教室准教授

魏 秀峰 吉林大学口腔医学院粘膜病科助教授

慢性閉塞性肺疾患(COPD)に有効な新疆ウイグルで用いられる天然薬物の開発研究

奥山 徹 明治薬科大学天然薬物学教授

哈木拉提 吾甫尔 新疆医科大学教授/副学長

中国人研究者招聘助成

王 海平 河北医科大学組織発生学講座大学院生

テーマ：肥満モデル動物における神経性調節 - 赤ワインが脂肪組織に与える影響 -

招請者：島田達生 大分大学医学部看護学教授

日本人専門家派遣助成

グレッグ 美鈴 神戸市看護大学看護学部  
看護学科看護組織学講座教授

テーマ：中国の継続看護教育に活用できる質的研究

招請者：曹 曉曉 広州市赤十字会医院病院長

在留中国人研究者研究助成

劉 赫 中国医科大学第二臨床病院脳神経外科助手

テーマ：骨髄移植による脳梗塞治療効果の機序の解明

指導者：本望 修 札幌医科大学脳神経外科講師

邵 和 大連市沙河口区医院神経内科主治医師

テーマ：ヒスタミン神経系の神経変質動物の作成：ヒスタミン神経の変性疾患は存在するか？

指導者：谷内一彦 東北大学大学院医学系研究科  
機能薬理学分野教授

劉 舵 中国西電集団医院放射線科主治医師

テーマ：多列検出器ヘリカルCTによる肺限局性スリガラス陰影の検出及び性状解析

指導者：山下康行 熊本大学大学院  
医学薬学研究部放射線科教授

孫 芳 北京大学医学部第一病院小児科医師

テーマ：小児肺高血圧症に対するシトルリン酸による治療に関する基礎的研究

指導者：中西敏雄 東京女子医科大学  
国際統合医科学研究所教授

恵 小剛 天津市児童病院小児外科主治医師

テーマ：子豚を用いてTPN(完全静脈栄養)により肝機能障害におけるアミノ酸の役割についての検討 - 伊東細胞を介して関与する可能性

指導者：林 富 東北大学医学系研究科小児外科教授  
孟 翔峰 南京市口腔醫院補綴科主治医師

テーマ：シランカップリング剤含有セラミックプライマーの成分がデュアルキュア型レジン接着剤のシリカベースマシナブルセラミックスとの接着耐久性に及ぼす効果

指導者：熱田 充 長崎大学歯学部教授

哈力沙 艾山 新疆医科大学中学院  
中西医結合教室助教

テーマ：慢性閉塞性肺疾患に有効な新疆ウイグル伝承薬物の研究開発

指導者：奥山 徹 明治薬科大学大学院  
天然薬物教室教授

張 曉春 山西省児童病院

テーマ：子どもの韌性尺度の信頼性と妥当性の検証 - 小児看護の視点から災害を経験した子どもに焦点を当てて -

指導者：片田範子 兵庫県立大学看護学研究科教授

## 2)2008年度募集

募集区分・件数( )内は応募件数

調査・共同研究 10～15件(46件)

中国人研究者招聘助成 1～5件(6件)

日本人研究者派遣助成 1～3件(3件)

在留中国人研究者研究助成 10～15件(36件)

募集期間

2007年11月1日～12月31日

広報媒体

「日中医学」および協会ホームページ、「NEWS LETTER」、学会雑誌、専門誌等

## 3)委員会の開催

・共同研究等助成事業委員会

日時：2008年2月21日 16:30～19:30

場所：学士会館310号室

出席者：委員長含む6名(委任状出席13名)

担当常任理事1名

議題：・2008年度助成対象者の選考

・2009年度助成金事業

・委員の任期と委員会構成

## 3. 金原記念日中医学交流基金による研究助成

1985年公益信託として設立された本基金の運営に、協会は募集の面で協力している。2008年2月19日開催の公益信託「金原記念日中医学交流基金」運営委員会において、2007年度4名の助成を決定した。

李 冬平 筑波大学人間総合科学研究科

分子情報・生体統御医学専攻診断病理研究室大学院生

テーマ：肺早期腺癌における異常メチル化の解析

指導者：野口雅之 教授

黄 涛 山梨大学大学院医学工学総合教育部

分子情報伝達学大学院生

テーマ：腎傍系球体装置におけるレニン分泌制御

機構：ギャップ結合と血管由来弛緩因子の役割

指導者：姚 建 准教授

唐 麗 群馬大学大学院医学系研究生命医科学専攻

高次細胞機能学大学院生

テーマ：精神疾患脆弱性の基盤となるシナプスのアクチン細胞骨格型の動態に関する研究

指導者：白尾智明 教授

孫 麗 神戸大学大学院医学系研究科

医学研究国際交流センター感染病理学大学院生

テーマ：終末糖化産物受容体(RAGE)が動脈硬化の発症に果たす役割の解析

指導者：林 祥剛 教授

## ・学術会議開催

### 1. 主催事業

・日中医学交流会議

テーマ：「放射線治療の現状と展望」

日時：2007年12月7日 13:00～18:15

会場：国際文化会館 講堂

主催：日中医学協会

後援：厚生労働省、医用原子力技術研究振興財団、日本医学放射線学会、日本医師会、日本画像医療システム工業会、日本癌治療学会、日本放射線腫瘍学会

参加者：シンポジウム90名、懇親会90名

講演：

「中国における放射線腫瘍学」

殷 蔚伯 中国協和医科大学腫瘍医院教授

「日本における高精度放射線治療」

永田 靖 京都大学大学院医学研究科准教授

「中国での食道癌に対する放射線治療の現状」

高 献書 北京大学第一医院教授

「日本での食道癌に対する放射線治療研究の現状」

西村恭昌 近畿大学医学部教授

「中国の粒子線(陽子線)治療の現状」

李家敏 淄博万傑陽子線治療センター長

「日本における粒子線治療」

辻井博彦 放射線医学総合研究所  
重粒子医科学センター長

## 2. 共催・後援事業

### ・第21回医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2007年8月7日～12日

開催地：三重郡菰野町

主催：日本TCM研究所、カネボウ薬品株式会社

後援：日中医学協会、天津中医学院

参加者：医学生40名、講師20名

## ・日中医療保健協力

### 1. 中日友好病院に対する協力

#### ・専門家派遣事業

中日友好病院の要望に基づき、診療水準の向上、若手養成に協力する事業として1993年度以来実施している。

2007年度は3名の専門家を派遣した。

堤 治 東京大学医学部附属病院産婦人科学教授

期間：2007年7月31日～8月4日

テーマ：腹腔鏡下手術の実地指導、子宮内膜症の  
病因から腹腔鏡の管理、低侵襲治療に関  
する講演

朴沢重成 慶應義塾大学医学部内科学(消化器内科)講師

期間：2007年11月5日～10日

テーマ：内視鏡による消化器病の治療

光嶋 勲 東京大学医学部附属病院

形成外科・美容外科教授

期間：2008年3月20日～22日

テーマ：リンパ管動脈顕微鏡手術

### 2. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力

日本及び中国での大腸癌に関する治療、特に各種病態に応じた薬物療法を中心とする臨床研究に対し

て協力した。

### 3. 「中医美容と健康」研究プロジェクト

資生堂(中国)研究開発中心有限公司が、中国国内で実施する美容及び健康領域の研究に対する共同(委託)研究プロジェクトに関する業務について協力した。

#### ・第5回評価委員会

日時：2008年3月27日 17:00～21:00

場所：学士会館301号室

出席者：委員長含む3名(委任状出席2名)

森岡理事長(ワザハ-)1名

議題：・2007年度研究成果発表

・2008年度登録テーマの審査と選考

・今年度委員の委嘱について

### 4. 学術交流に対する協力

#### 1) 中華医学会日本医学会総会訪日団の招請

当協会の招請で呉明江(中華医学会副会長兼秘書長)氏を含む4名が日本医学会総会視察のため訪日した。協会は日本医学会への招待依頼はじめ諸手配と同行を行った。

招請期間：2007年4月5日～12日

主要日程：5日 日本医学会総会会頭招宴

6日 開会式出席、会頭、副会頭、準備委員長との昼食会、企画展示見学

7日 大会事務局との面談

8日 閉会講演と閉会式出席

10日 協会主催歓迎夕食会

11日 日本医学会会長、日本医師会会長、日本心臓財団表敬訪問

12日 「日中医学」インタビュー

#### 団構成：

団長 呉 明江 中華医学会副会長兼秘書長

団員 劉 智 中華医学会対外連絡処責任者

姜 永茂 中華医学会学術会務部主任

張 立華 中華医学会学術会務部

## 属病院の説明

写真撮影、病院受付見学

### 2) 日中青年世代友好代表团による中国訪問

1984年、池谷田鶴子評議員(当時)は、中国(中華全国青年連合会)が日本の青年ら3,000名を招請した「84中日青年友好交流」に参加した。

本年、池谷理事に対し、中華全国青年連合会より、「84中日青年友好交流」の継続活動として、1984年の参加者とその子孫(または所属機関の現職職員)計200名招待の連絡があり、池谷理事から本協会職員を同行させたいとの申し出があり、本協会の紹介に努めることを目的に、岡田職員が同行した。

期 間：2007年6月14日～20日

参 加 者：池谷田鶴子 理事

岡田光子 事務局職員

訪問都市：上海市、蘭州市、北京市(訪問順)

概 要：

上海市静安区社区および家庭訪問、甘肅省榆中県福和希望小学校ならびに榆中県二中の参観、「温故知新 伝承友好」フォーラムへの参加。

協会概要と「二十周年記念誌」を中国側と日本側の要人(胡錦濤国家主席、全国青年連合会万学軍副秘書長、野田毅衆議院議員・団長等)、関係機関代表に渡し、本協会の活動を紹介した。

### 3) 四川省瀘州医学院附属口腔医院訪日団の招請

四川省瀘州医学院附属口腔医院訪日団の東京での視察先を手配の業務を行った。

同団は東京滞在中、東京医科歯科大学歯学部附属病院でのインプラントの見学等を行った。

なお、同団は、芦田工務店の招請により来日したものの。

日 程：2007年6月27日

09:30～09:50 歯学部資料室見学

09:50～10:00 侯木副院長を表敬

10:00～11:00 インプラント外来、インプラント手術見学

春日井教授より教室の研究テーマについての講義

11:00～11:30 矯正外来(簡野助教対応)

11:30～12:00 侯木副院長より大学、歯学部附

12:15

団構成

団長 楊 四維 院長(歯科矯正学教授)

団員 聶 敏海 副院長(歯科内科学教授)

劉 敏 口腔修復学教授(同科主任)

黄 素華 歯科矯正学准教授(同科主任)

古 亜蘭 歯科顎面外科学准教授(同科主任)

趙 威 歯科顎面外科学講師(同科主任)

蔣 俊強 歯科内科学講師(同科主任補佐)

肖 陽 通訳

東 雅広 (株)芦田工務店企画室

### 4) 王国強衛生部副部長の招請

協会は衛生部の要請に応じ、王国強衛生部副部長兼国家中医薬管理局長を団長とする訪日団を招請した。

期 間：2007年12月10日～15日

目 的：日本の伝統医薬の科学研究・医療・教育及び産業等関係する領域の発展状況に対する理解促進を目的に来日、滞在期間中、協会役員との懇談、共立薬科大学等を訪問した。

団構成：

団長 王 国強 衛生部副部長兼国家中医薬管理局長

団員 張 奇 国家中医薬管理局国際合作司長

查 德忠 国家中医薬管理局医政司副司長

邱 徳亮 吉林省中医薬管理局長

陳 俊峰 衛生部副部長秘書

## ． 広報事業

### 1 . 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第22巻1～6号を以下の通り発行した。

第1号(2007年5月)

特集「中国における臓器移植の現状」

第2号(2007年7月)

特集「中国の狂犬病の現状」

第3号(2007年9月)

2007年日中医学交流会議

- 放射線治療の現状と展望

特集「中国の環境汚染の現状と対策」

第4号(2007年11月)

特集「中国疾病預防控制中心(中国CDC)の活動

- 非感染症を含めて - 」

第5号(2008年1月)

特集「中国における薬事審査の実情」

第6号(2008年3月)

特集「中国の口腔顎顔面形成治療の現状」

## 2. 「NEWS LETTER」の発行

2003年から協会の活動を幅広く、わかりやすく紹介するため機関紙「NEWS LETTER」を発行している。今年度は、12～14を発行した。

12(2007年4月発行)

記事「出会い」他

13(2007年9月発行)

記事「日中笹川医学研究者制度20周年記念行事」他

14(2007年12月発行)

記事「新しい日中笹川医学奨学金制度」他

## 3. ホームページの拡充

アドレス：<http://www.jpccma.or.jp>

## 4. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」

Volume7 Issue2～Volume8 Issue1の発行について支援団体(Sponsoring Organization)として協力した。

## 5. 委員会の開催

### ・第1回広報委員会

日時：2007年6月12日 18:30～20:30

場所：学士会館309号室

出席者：委員長他委員6名、担当常任理事2名

議題：

- ・電子配信対応に伴う著作権の確認について
- ・「日中医学」21巻6号、22巻1号、「NEWS LETTER」12の発行報告
- ・「日中医学」第22巻2～6号の掲載記事について
- ・投稿原稿の審査他

### ・第2回広報委員会

日時：2007年10月9日 18:30～21:00

場所：学士会館309号室

出席者：委員長他委員7名、担当常任理事2名

議題：

- ・「日中医学」第22巻2号、3号、「NEWS LETTER」13の発行報告
- ・「日中医学」第23巻の発行の特集テーマ、連載について

### ・第3回広報委員会

日時：2008年2月12日 18:30～20:30

場所：学士会館309号室

出席者：委員長他委員4名、担当常任理事1名

議題：

- ・「日中医学」第22巻4号、5号、「NEWS LETTER」14の発行報告
- ・2008年度広報事業費、広告掲載申し込みについて
- ・広報委員会委員の改選について

## 総務報告の部

### ・ 役員の選任について

#### 1. 理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

2007年5月24日第45回評議員会に於いて理事を選任。

##### ・ 就任 4名

岡本囿衛 社団法人生命保険協会会長

讚井暢子 社団法人日本経済団体連合会

国際第二本部長

庄山悦彦 社団法人日本電機工業会会長

町田勝彦 社団法人電子情報技術産業協会会長

##### ・ 辞任 6名

秋草直之 社団法人電子情報技術産業協会会長

畔柳信雄 全国銀行協会会長

片岡啓治 社団法人日本電機工業会会長

角田 博 社団法人日本経済団体連合会参与

齋藤勝利 社団法人生命保険協会会長

杉本恒明 関東中央病院名誉院長

2008年3月18日第46回評議員会に於いて、任期満了に伴う理事の選任。

任 期：2008年4月1日～2010年3月31日

##### ・ 再任 34名

安達 勇、池谷田鶴子、出月康夫、今井一洋、

岩砂和雄、牛尾恭輔、江藤一洋、大久保満男、

岡本囿衛、小川秀興、荻原幸夫、加我君孝、

勝俣恒久、唐澤 人、菊池晴彦、小林秀資、

齋藤洋一、酒谷 薫、讚井暢子、庄山悦彦、

高久史磨、高倉公朋、橋本敬太郎、馬田 一、

花岡一雄、久常節子、久道 茂、平田 温、

町田勝彦、丸野政雄、武藤徹一郎、森 亘、

森岡恭彦、森田 清

##### ・ 就任 1名

児玉 孝 社団法人日本薬剤師会会長

##### ・ 退任 3名

中西敏夫 社団法人日本薬剤師会会長

梅田貞夫 社団法人日本建設業団体連合会会長

田中 勲 社団法人日本自動車工業会理事・事務局長

##### ・ 死亡による退任 1名

高藤鉄雄 第一三共株式会社相談役

#### 2. 監事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、監事を選任。

2007年5月24日第45回評議員会に於いて、長谷川恒雄監事辞任に伴う選任。

##### ・ 就任：杉本恒明 関東中央病院名誉院長

2008年3月18日第46回評議員会に於いて、任期満了に伴う監事の選任。

任 期：2008年4月1日～2010年3月31日

##### ・ 再任 3名

金井 浄、齋藤 洋、杉本恒明

#### 3. 役員の選任について

2008年3月18日第46回理事会は、任期満了に伴う会長・副会長・理事長・常任理事の選任について、理事長を除く役員の選任に関しては、2008年5月に開催予定の第47回理事会において選任することとした。

寄附行為第19条3項に基づき、後任者が就任するまで前任者がその職務を行うこととした。

#### 4. 理事長の選任

2008年3月18日第46回理事会は、任期満了に伴い寄附行為第17条及び第19条に基づき理事長を選任。

なお、安達勇理事が理事長に就任するまでは、寄附行為第19条3項に基づき、前任者がその職務を行うこととした。

任期：2008年8月1日～2010年3月31日

就任：安達 勇 理事

## 5. 常任理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、常任理事を選任。

2007年5月24日第45回理事会に於いて、杉本恒明常任理事辞任に伴い、常任理事を選任。

・就任：加我君孝 理事

## 6. 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出。

2007年5月24日第45回理事会に於いて評議員を選出。

・就任 4名

小田泰子 社団法人日本女医会会長  
笠原正貴 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座助教  
清水正嗣 大分医科大学名誉教授  
村上恵一 社団法人日本歯科医師会専務理事

・辞任 4名

内山文博 社団法人日本歯科医師会専務理事  
橋本葉子 社団法人日本女医会会長  
竹田美文 国立感染症研究所名誉所員  
松田 朗 財団法人厚生年金事業振興財団常務理事

2008年3月18日第46回理事会に於いて、任期満了に伴う評議員の選出。

任 期：2008年4月1日～2010年3月31日

・再任 92名

朝倉 均、阿部 裕、天野 嘩、伊賀立二、池田 裕、石井裕正、石井正三、市川和孝、井出吉信、糸賀 敬、糸川秀治、稲葉 裕、稲福 繁、猪俣 博、今泉英明、井廻道夫、江里口彰、小川 彰、尾崎由基男、小田泰子、小田島肅夫、影井 昇、笠原正貴、加藤四郎、加藤抱一、金原秀雄、鴨下重彦、河野信博、北 潔、北中 進、北村唯一、木下勝之、木村光孝、黒川 顕、黒・紀正、黒田嘉和、五島瑳智子、齊藤大三、酒井國男、酒井シツ、桜井芳明、佐々木一之、佐藤信紘、清水 浩、清水正嗣、下村克朗、正山征洋、鈴木磨郎、

住吉金次郎、高橋美智、田口鐵男、武田隆男、竹田忠紘、田中雅夫、谷美智士、田平 武、塚原 勇、土山秀夫、杜 子威、名川弘一、鍋谷欣市、西沢良記、花輪壽彦、早石 修、日暮 眞、福生吉裕、古川俊之、本庶 佑、前原忠行、町田幸雄、松井比呂美、松村英雄、丸山 茂、御子柴克彦、水島 裕、水野 昇、箕田健生、宮田 侑、村上恵一、室賀昭三、望月清志、山口 巖、山口 建、山田陽城、山中宣昭、山西弘一、山本昌弘、家森幸男、横山榮二、吉倉 廣、和賀井敏夫、渡邊裕司、

・就任 4名

石館光三 帝京平成大学教授  
永池京子 社団法人日本看護協会常任理事  
李 天成 国立感染症研究所村山分室  
ウイルス第2部主任研究官  
姚 建 山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授

・退任 6名

青木 孝 学校法人順天堂大学大学院医学研究科教授  
尾前照雄 国立循環器病センター名誉総長  
北川 勲 大阪大学名誉教授  
廣川浩一 国立精神神経センター国府台病院名誉院長  
廣瀬千也子 社団法人日本看護協会常任理事  
森田皓三 愛知県がんセンター中央病院名誉病院長

・死亡による退任 1名

大谷 明 国立感染症研究所名誉所員

## 7. 名誉会員の推戴について

2007年5月24日第45回理事会に於いて、名誉会員を推戴した。

長谷川恒雄 全国老人保健施設協会理事

・名誉会員名簿

井出源四郎、岡本道雄、河村喜典、齋藤 毅、柴田承二、清水喜八郎、杉村 隆、中島 章、長谷川恒雄、松浦啓一、三神美和、山本敏行

(2007年5月24日現在)

8. 顧問辞任の件

2007年5月24日第45回理事会に於いて、谷野作太郎顧問の辞任を了承した。

. 会員拡大と募金活動について

1. 会員数の推移

	07年3月 末現在	2007年度 入退会	08年3月 末現在
個人 会員	495名	入会55名 退会55名	495名
法人 会員	56社	入会 0社 退会 4社	52社
特別 会員	4社	入会 0社 退会 0社	4社

2. 募金活動

2007年度事業のための寄付金は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事業等に充当した。

団体・法人 19法人

芦田工務店、エーザイ(株)、クラシエ薬品(株)、  
シ-メス旭(株)、イテック(株)、GE 横河(株)、イカシステム(株)、  
資生堂(中国)研究開発中心有限公司、(株)島津製作所  
第一三共(株)、(株)千代田テクノ、中外製薬(株)、  
(株)ツムラ、東芝(株)、イカシステム(株)、日本医師会、  
日本画像医療システム工業会、日本(株)フィジックス(株)、  
(株)リアン(株)、イカシステム(株)、ブレインラボ(株)、  
みずほ信託銀行、(株)ヤクルト本社、横河電機(株)

個人 54名

安達 勇、池田 裕、石井裕正、市川和孝、  
糸川秀治、今井一洋、今泉英明、牛尾恭輔、  
内田 勲、江藤一洋、小川秀興、荻原幸夫、  
小田島肅夫、尾前照雄、加我君孝、笠原正貴、  
加藤四郎、金井 浄、金原秀雄、北川 勲、

北中 進、北村唯一、木村光孝、五島瑛智子、  
齋藤 洋、齋藤洋一、酒巻裕一、佐藤信弘、  
清水正嗣、下村克朗、正山征洋、杉本恒明、  
高倉公朋、高橋美智、武田隆男、塚原 勇、  
土山秀夫、橋本敬太郎、日暮 眞、久道 茂、  
福生吉裕、本庄 佑、町田幸雄、松井比呂美、  
松村英雄、丸野政雄、水野 昇、武藤徹一郎、  
森 亘、森岡恭彦、山本昌弘、家森幸男、  
吉倉 廣、渡邊裕司 (あいうえお順)

. 協会運営に係る事項

1. 理事会・評議員会の開催

第45回評議員会

日 時：2007年5月24日 16:30～17:30  
場 所：銀座アスターお茶の水賓館  
出席者：91名(委任出席76名)  
議 題：理事選任の件

第45回理事会

日 時：2007年5月24日 16:30～17:30  
場 所：銀座アスターお茶の水賓館  
出席者：37名(委任出席21名)  
議 題：2006年度事業報告(案)の件  
2006年度決算報告(案)の件  
評議員選出の件  
役員人事の件  
日本財団助成金申請の件

第46回評議員会

日 時：2008年3月18日 17:00～19:00  
場 所：龍名館本店 龍の間  
出席者：91名(委任出席71名)  
議 題：理事選任の件

第46回理事会

日 時：2008年3月18日 17:00～19:00  
場 所：龍名館本店 龍の間

出席者：39名（委任出席23名）

議 題：2008年度事業計画(案)の件  
2008年度収支予算(案)の件  
評議員選出の件  
役員人事の件  
運営委員会規程の変更と委員委嘱の件

## 2．常任理事会の開催

### 第204回常任理事会

日 時：2007年5月11日 17:00～19:00  
場 所：学士会館307号室  
出席者：理事長他7名  
議 題：理事会・評議員会議題案について他

### 第205回常任理事会

日 時：2007年7月26日 15:00～17:00  
場 所：学士会館308号室  
出席者：理事長他4名  
議 題：担当常任理事、次期奨学金制度他

### 第206回常任理事会

日 時：2007年9月19日 17:00～19:00  
場 所：学士会館303号室  
出席者：理事長他7名  
議 題：次期奨学金制度実施について他

### 第207回常任理事会

日 時：2007年12月10日 17:00～19:00  
場 所：学士会館309号室  
出席者：理事長他9名  
議 題：2008年度事業計画、予算について他

### 第208回常任理事会

日 時：2008年2月29日 17:00～19:00  
場 所：学士会館303号室  
出席者：理事長他10名  
議 題：2008年度事業計画、予算について他

## 3．各運営委員の委嘱

寄附行為第33条及び運営委員会規程第3条、第4条に基づき各運営委員を委嘱。

2008年3月18日第46回理事会は、任期満了に伴い広報委員会及び日中笹川医学奨学金運営委員会(第46回理事会承認)の各委員を委嘱した。

なお、事業計画・財務委員会、共同研究等助成事業委員会委員の委嘱については、2008年5月開催の第47回理事会において審議することとした。

任期：2008年4月1日～2010年3月31日

### 広報委員会

委員長：

河野信博 医療法人優和会  
介護老人保健施設ブルミエール施設長

委 員：

池谷田鶴子 順天堂大学医学部非常勤講師  
池田 裕 磯子中央・脳神経外科病院院長  
稲葉 裕 順天堂大学医学部教授  
尾崎由基男 山梨大学大学院  
医学工学総合研究部教授

笠原正貴 東京歯科大学水道橋病院医局長

竹田忠紘 共立薬科大学教授

丸 義朗 東京女子医科大学教授

姚 建 山梨大学大学院  
医学工学総合研究部准教授

輪湖史子 社団法人日本看護協会国際部長

### 日中笹川医学奨学金運営委員会

委員長：

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授

委 員：

岩本安彦 東京女子医科大学糖尿病センター長

江藤一洋 日本歯科医学会会長

荻原幸夫 日本薬科大学学部長

倉林正彦 群馬大学教授

塩野元美 日本大学教授

高橋和久 順天堂大学教授

高松 研 東邦大学教授

田平 武 国立長寿医療センター研究所所長

名川弘一 東京大学教授  
根本則道 日本大学教授  
平田 温 宮崎市民の森病院副院長  
星合 昊 近畿大学主任教授  
森山紀之 国立がんセンター  
がん予防・検診研究センター長  
金井Pak雅子 東京女子医科大学  
看護学部看護管理学教授

#### 4 . 日本財団の補助金について

2008年2月26日付で2008年度助成金申請に対する  
審査結果が以下の通りあった。

共同研究等助成金に対する助成

助成金額 15,000,000円

日中笹川医学奨学金制度第31期研究者受入に  
対する助成

助成金額 145,500,000円

基盤整備事業

助成金額 35,000,000円

日中笹川医学研究者制度第30期研究者名簿(2007年4月~2008年3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
李花	中国医科大学基礎医学院組織胚胎学教研室講師	札幌医科大学医学部内科学第1	篠村恭久 教授
張小蒙	中国人民解放军第二軍医大学第一附属医院呼吸内科主治醫師	札幌医科大学医学部内科学第3	高橋弘毅 教授
聶連波	吉林大学中日聯誼医院顯微整形外科主治醫師	東北大学大学院医学系研究科外科病態学(形成外科学)	館正弘 教授
王尉	中国人民解放军軍区廣州總医院泌尿外科主治醫師	秋田大学医学部泌尿器科学	羽淵友則 教授
王常祿	上海市胸科医院治療科住院醫師	筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系先端応用医学	徳植公一 准教授
郭瑶	中国医科大学附属第二医院麻醉科主治醫師	群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学	齋藤 繁 教授
郭晋村	廈門大学附属中山医院心臟中心内科主治醫師	千葉大学大学院医学研究院循環病態医学科学	小室一成 教授
謝勇	江蘇省蘇北人民医院内科副主任醫師	日本医科大学内科学第1	高野雅允 助教
張正茂	河北医科大学第四医院婦産科副主任醫師	千葉県がんセンター病理研究部	田川雅敏 部長
李玉琴	吉林大学第一医学院消化内科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科器管病態内科学(消化器内科学)	小侯政男 教授
劉旭光	吉林大学第一医学院心臟外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学(心臟外科学)	高本眞一 教授
蘇震東	上海交通大学医学院附属第三人民医院普通外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学(消化管外科学)	上西紀夫 教授
張偉	中国人民解放军第二軍医大学第二附属医院普通外科主治醫師	東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学(肝胆脾外科学)	國土典宏 教授
鄧芳麗	・ 州市第一人民医院耳鼻喉科護師	東京大学大学院医学系研究科予防看護学(看護管理学)	菅田勝也 教授
賈志敬	南方医科大学薬学院副教授	東京大学医学教育国際協力研究センター	北村 聖 教授
張春曉	中国人民解放军第四軍医大学口腔医学院牙体牙髓病科主治醫師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髓生物学	須田英明 教授
祝延紅	吉林大学基礎医学院生理学教研室副教授	日本医科大学生理学	佐久間康夫 教授
劉新宇	山東大学青島医学院骨科主治醫師	日本医科大学医療管理学	長谷川敏彦 准教授
袁益明	四川大学華西医院老年科主治醫師	日本医科大学整形外科学	伊藤博元 主任教授
胡洋	深・市人民医院婦産科主治醫師	順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学	高橋和久 教授
馬小力	中国医科大学附属第一医院眼科主治醫師	慶應義塾大学医学部産婦人科学	末岡 浩准 教授
崔徐	広東省人民医院耳鼻喉科主治醫師	慶應義塾大学医学部眼科学	坪田一男 教授
徐鐘大	蘇州大学附属第二医院呼吸内科主治醫師	慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学	小川 郁 教授
李麗	広州中医薬大学第二附属医院腎病中心副研究員	昭和大学医学部第一内科学	足立 満 教授
劉俊玲	青島市人民医院皮膚科主治醫師	東京女子医科大学腎臓外科学	寺岡 慧 教授
秦衛豐	中山大学腫瘤防治中心内科主治醫師	東京女子医科大学形成外科学	野・幹弘 主任教授
馬東菊	中日友好医院国際医療部一病区護師	国立がんセンター中央病院呼吸器科	田村友秀 准教授
王朝霞	北京大学第一医院神経内科副主任醫師	国立がんセンター中央病院放射線治療部	加賀美芳和 医長
李燕虹	中山大学附属第一医院児科主治醫師	国立国際医療センター病院看護部	穴沢小百合 准教授
李李權	広州市疾病予防控制中心微生物検査科主管技師	国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第二部	後藤雄一 部長
劉蘭軍	成都生物制品研究所抗体研究室副研究員	国立成育医療センター内分泌・代謝科	堀川玲子 医長
蘇忠学	山東省立医院普外科主治醫師	国立感染症研究所細菌第一部第一室	寺嶋 淳 室長
劉燕	上海交通大学医学院附属瑞金医院放射科主治醫師	国立感染症研究所ウイルス第二部第一室	武田直和 室長
張冰潔	吉林大学中日聯誼医院眼科主治醫師	財団法人癌研究会 有明病院消化器外科	山口俊樹 部長
盧建新	上海交通大学医学院附属第九人民医院腎内科住院醫師	財団法人早期胃癌検診協会中央診療所	馬場保昌 所長
曉翔	蘇州大学附属兒童医院腎臓内科住院醫師	北里大学病院眼科	清水公也 教授
甘雲娜	中国人民解放军第四軍医大学口腔医院修復科主治醫師	東海大学医学部付属病院腎・代謝内科	斎藤 明 教授
宝音倉	内蒙古医学院蒙医科主治醫師	新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学	内山 聖 教授
張喆	山東中医薬大学人文社科学院講師	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食環境制御学歯周診断・再建学	吉江弘正 教授
國柱	上海市疾病予防控制中心心臓血管疾病糖尿病防治科醫師	富山大学大学院医学薬学教育部保健医学	鏡森定信 教授
姜元軍	中国医科大学附属第一医院泌尿外科主治醫師	富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学	柴原直利 教授
徐貴平	西安交通大学医学院第一附属医院医学影像中心主治醫師	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学	山縣太郎 教授
陳何燕	中南大学湘雅二医院呼吸内科主治醫師	山梨大学大学院医学工学総合研究部泌尿器科学	武田正之 教授
陳科	中山大学附属第一医院婦産科主治醫師	山梨大学大学院医学工学総合研究部放射線医学	荒木 力 教授
何雁冰	広州医学院第二附属医院麻酔科主治醫師	信州大学大学院医学研究科内科学第1	久保憲嗣 教授
劉曉芬	山西省人民医院治療科主管護師	信州大学大学院医学研究科産婦人科学	塩沢丹里 准教授
宋華岩	中国医科大学附属第一医院神経内科主治醫師	岐阜大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生学	土肥修司 教授
張霞	中国人民解放军南京軍区福州總医院腫瘍科主治醫師	静岡県立静岡がんセンター看護部	古田里恵 看護部長
馮宇鵬	中国人民解放军第四軍医大学基礎部人体解剖学教研室講師	大阪長寿医療センター研究所	田平 武 所長
成東華	中国医科大学附属第一医院普外科暨器管移植科住院醫師	愛知県がんセンター研究所腫瘍病理学	立松正衛 部長
劉敏	泰山医学院附属医院婦産科主治醫師	京都大学大学院医学研究科脳統御医科学(高次脳形態学)	金子武嗣 教授
高夏	河南省胸科医院心胸外科副主任醫師	京都大学大学院医学研究科外科科学(肝胆・移植外科学)	上本伸二 教授
李玉	中国医科大学附属一院内分泌科副研究員	京都大学大学院医学研究科器管外科学(婦人科学・産科学)	万代昌紀 講師
馬晶	中国人民解放军總医院老年心血管病研究所主治醫師	京都大学大学院医学研究科器管外科学(心臓血管外科学)	池田 義史 教授
李飛	中国人民解放军第四軍医大学第一附属医院心臟内科主治醫師	京都大学大学院医学部附属医院探索医療センター一探索開発部	赤水尚史 教授
王鈞	中国人民解放军第四軍医大学第一附属医院消化内科主治醫師	大阪大学大学院医学系研究科内科学(循環器内科学)	堀 正二 教授
李衛哲	天津医院創傷科主治醫師	大阪大学大学院医学系研究科内科学(循環器内科学)	堀 正二 教授
李楠	哈爾濱市紅十字中心医院生殖医学中心主治醫師	大阪大学大学院医学系研究科内科学(消化器内科学)	堀 紀夫 教授
王安輝	中国人民解放军第四軍医大学流行病学教研室講師	大阪大学大学院医学系研究科器管制御外科学(整形外科学)	吉川秀樹 教授
張紅	江蘇省口腔医院口腔内科副主任醫師	大阪大学大学院医学系研究科器管制御外科学(産科婦人科学)	木村 正 教授
邱紅	华中科技大学同济医学院附属同济医院腫瘍科主治醫師	大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野	塩田達雄 教授
小橋春蘭	中国人民解放军濟南軍区總医院普通外科副主任醫師	大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学(歯科補綴学第二)	小野高裕 准教授
金春蘭	中国中医科学院針灸研究所国際培训中心主治醫師	大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学(歯科保存学)	恵比須繁之 教授
桂榮	南通大学附属医院心血管内科住院醫師	大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科学(外科学第1)	平川弘聖 教授
李樹穎	天津医科大学代辦病医院腎臓科主治醫師	大阪医科大学一般・消化器外科学	谷川允彦 教授
楊波	中国人民解放军總医院心血管内科主治醫師	関西医療大学解剖学	木村通郎 教授
周成斌	広東省人民医院心血管外科主治醫師	国立循環器病センター研究所疫学部	春日直温 部長
崔秀玉	首都医科大学神経生物学系疼痛生物学研究所副教授	神戸大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝・内分泌内科学	岩井雅人 教授
崔猛	哈爾濱医科大学附属第一医院神經外科主治醫師	神戸大学大学院医学系研究科循環呼吸器病態学	江本憲昭 講師
劉開忠	中南大学湘雅二医院伝染科主治醫師	神戸大学大学院医学系研究科呼吸循環器外科学	大北 裕 教授
王艷	温州医学院附属第一医院内科主治醫師	兵庫医科大学医学部解剖学第2	野口光一 教授
甘露	哈爾濱医科大学附属第二臨床医院老年病科主治醫師	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科神経病態外科学(脳神経外科学)	伊達 勲 教授
王彭輝	廈門市第一医院呼吸内科主治醫師	岡山大学医学部・歯学部附属医院遺伝子・細胞治療センター	藤原俊義 准教授
劉立民	温州医学院附属第一医院移植中心住院醫師	広島大学大学院医歯薬学総合研究科先進医療開発科学(外科学)	浅原利正 教授
趙勇	河北省人民医院老年病科主治醫師	徳島大学大学院ヘルス/バイオサイエンス研究部医療栄養科学(代謝栄養学)	中屋 豊 教授
孟召偉	首都医科大学附属北京友誼医院感染内科住院醫師	九州大学大学院医学研究院循環器内科学	砂川賢二 教授
程海霞	天津医科大学總医院核医学科主治醫師	九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学	中西洋一 教授
	武漢大学人民医院腫瘍科主治醫師	九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学	田中雅夫 教授
		産業医科学消化器・代謝内科学(第3内科学)	大槻 眞 教授
		長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学	河野 茂 教授
		長崎大学大学院医歯薬学総合研究科原爆後障害医療研究施設分子診断分野	山下俊一 教授
		宮崎大学医学部病理学(腫瘍・再生病態学)	山岡寛章 教授

日中笹川医学研究者制度第16期特別研究者名簿(2007年4月～2008年3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
	研究テーマ		
季文進	広東省人民医院麻醉科主治医師	札幌医科大学医学部麻酔学	並木昭義 教授
	研究テーマ：静脈麻酔薬プロポフォールの末梢機序の研究		
宗文	中国人民解放軍総院老年内分泌科副主任医師	東北大学大学院医学系研究科分子代謝病態学分野	岡芳知 教授
	研究テーマ：糖尿病発症機構の分子生物学的解析		
肖剛	中山大学附属第三医院検査科主管技師	東北大学医学部保健学科基礎検査学講座病原検査学分野	川上和義 教授
	研究テーマ：エイズに合併する日和見病原真菌による宿主免疫応答への影響		
梁永宣	北京中医药大学基礎医学院史文献教研室副教授	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	真柳誠 教授
	研究テーマ：日朝医学筆談資料の研究		
崔念暉	北京大学口腔医学院口腔顎顔外科副主任医師	東京歯科大学口腔外科学	柴原孝彦主任教授
	研究テーマ：下顎歯肉癌における顎骨浸潤メカニズム		
趙琳	大連医科大学附属第二医院産科副主任医師	東京大学大学院医学系研究科産婦人科学(生殖腫瘍学)	矢野哲准教授
	研究テーマ：新規GHRHアンタゴニストMZ-5-156のヒト子宮内膜癌細胞株に対するアポトーシス誘導効果の検討		
金紅	延辺婦幼保健院産科主治医師	順天堂大学大学院医学研究科産婦人科学	武内裕之准教授
	研究テーマ：生殖細胞特異的抗原TEX101の生化学的特徴の解析		
魏文洲	武漢大学人民医院放射科副主任医師	国立がんセンターがん予防・検診研究センター	森山紀之センター長
	研究テーマ：CT検査を中心とした早期胃癌画像診断の研究		
呂嘉	哈爾濱医科大学附属第一医院眼科主治医師	新潟大学大学院医歯学総合研究科視覚病態学分野(眼科学)	阿部春樹 教授
	研究テーマ：神経細胞の成長円錐突起の成長に関する分子細胞生物学的研究 - 神経成長におけるFABP-7の役割の解析		
金英姬	遼源市婦嬰医院児科副主任医師	山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学	範江林 教授
	研究テーマ：C反応性蛋白遺伝子改変ウサギを用いた動脈硬化の研究		
張静敏	吉林大学薬学院生薬学教研室教授	名古屋大学大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター分子病理	高橋雅英 教授
	研究テーマ：ヒト癌細胞におけるCD109の機能解析		
郭英	中国人民解放軍第四軍医学基礎部病理生理学教研室講師	愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部	瀬戸加太 部長
	研究テーマ：悪性リンパ腫の分子病態研究		
徐冰	青島大学医学院産科教研室副主任医師	京都府立医科大学産婦人科学	本庄英雄 教授
	研究テーマ：子宮内膜症の癌化		
宋效鳳	黒龍江省医院護理教研室主管護師	京都橋大学看護学部老年看護学	奥野茂代 教授
	研究テーマ：前期高齢者の認知症の予防に対する意識とその予防行動		
袁華	中国人民解放軍第四軍医学第一附属医院康復と理療科主治医師	大阪大学大学院医学系研究科神経機能形態学	遠山正彌 教授
	研究テーマ：うつ病発症の分子機序		
袁瑩	同済大学医学院基礎医学部講師	大阪大学大学院医学系研究科病理病態学	青笹克之 教授
	研究テーマ：悪性腫瘍転移におけるVCP(Valosin-Containing Protein)の作用制御の検討		
黄定明	四川大学華西口腔院歯体歯髓科副教授	大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学	天野敦雄 教授
	研究テーマ：歯周病原性菌に対する歯周組織の細胞応答		
許英姬	吉林市中心医院消化内科主治医師	大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科学(内科学第3)	荒川哲男 教授
	研究テーマ：胃上皮細胞の腸上皮化生における胆汁酸の影響と核内胆汁酸受容体の役割		
晁志	南方医科大学中薬学院薬用植物と中薬鑑定教研室副教授	九州大学大学院薬学研究院薬用植物育種学	田中宏幸准教授
	研究テーマ：抗タキソール小型化抗体の作製と応用研究		
朴春花	中国康復研究中心附属北京博愛医院綜合康復科副主任医師	産業医科大学リハビリテーション医学	蜂須賀研二教授
	研究テーマ：1)Odbal課題によるP300のhabituationの解析 2)慢性期脳卒中患者の機能維持		

## 日中笹川医学奨学金制度協定書

1986年8月14日、笹川良一、陳敏章、石館守三によって調印された笹川医学奨学金制度は、1996年8月に第二次10年計画へと発展し、20年間にわたり推進した本事業は、所期の目的である日中両国の医学分野における友好と協力を飛躍的に促進させ、2008年3月に円満に終了する。

これらの成果を引継ぎ、新しい時代における両国の相互理解と友好を深めるため、日本財団及び中華人民共和国衛生部は共同で実施する医学奨学金制度について友好的に話し合い、ここに協定を締結する。

1. 本制度は、中国の医学・医療その他関連諸領域における指導者となりうる人材を日本において育成し、もって日中両国国民の医学・医療分野の交流の促進、及び健康と福祉の向上、並びに相互理解を深めることを目的とする。
2. 本制度は、日本財団と中華人民共和国衛生部により、2008年9月から2013年8月までの5年間にわたり年間30名を限度に実施される。
3. 日本財団と中華人民共和国衛生部は、前項の目的及び事業を達成するため、その費用を提供する。
4. 日本財団と中華人民共和国衛生部は、本協定書に定められた事業をそれぞれ、財団法人日中医学協会、財団法人笹川記念保健協力財団及び中華人民共和国衛生部国際交流与合作中心に委任する。
5. 本協定書に定めた事業を実施するため、財団法人日中医学協会、財団法人笹川記念保健協力財団及び中華人民共和国衛生部国際交流与合作中心は、日中笹川医学奨学金制度要綱を作成し、事業を遂行する。
6. 本事業実施期間中に解決すべき問題がある場合には、日中双方は誠意をもって協議する。
7. この協定は2007年8月26日に北京において調印し、調印の日から効力を発する。
8. この協定の有効期限は2013年8月までとする。

この協定書は、日本語及び中国語で作成し、等しく正本とする。日本語及び中国語の協定書は、各2通作成し、双方が各1通を所持するものとする。

日本財団  
笹川陽平（署名）

中華人民共和国衛生部  
蒋作君（署名）

# 日中笹川医学奨学金制度要綱

2007年8月26日に北京において日本財団と中華人民共和国衛生部との間で調印された日中笹川医学奨学金制度協定書に則り事業を推進するため、財団法人日中医学協会(以下「協会」という)、財団法人笹川記念保健協力財団(以下「笹川財団」という)、中華人民共和国衛生部国際交流与合作中心(以下「交流中心」という)の三者(以下「三者」という)は、本要綱を締結する。

## 1. 事業の実施

三者は、それぞれ責任を持って以下の役割を担い、協力して事業を実施する

### 協会の役割

奨学金受給者(以下「研究者」という)の最終決定

日本において研究を行うための諸手続

研究者の日本滞在期間中の身元保証

奨学金の支給

### 交流中心の役割

中国全土における募集の実施

協会に対する研究者の選考・入国等に必要な書類の提供

語学研修の実施

### 笹川財団の役割

本制度関連行事の実施

笹川医学研究者に対する支援活動の実施

## 2. 奨学金支給期間

奨学金支給期間は1年間とする

## 3. 対象領域

医学・歯学・薬学・看護及び関連諸領域の研究

## 4. 実施場所

日本の国公立の病院・研究所・大学など受け入れ可能な施設

## 5. 応募者の要件

応募者は、次の各号に掲げる要件を備えるものとする

中華人民共和国(以下「中国」という)の国籍を有し、来日時満35歳以下であること

中国の大学・研究機関・医療機関に在勤かつ医療・研究活動に従事し、そのための資格を有していること

日本において研究を行うことを強く希望していること

心身ともに健康で、支障なく研究活動を行えること

大学或いは専門学校卒業者で、研究を遂行するための専門的能力及び外国語能力を備えていること

中国の所属機関から出国の同意、推薦が得られること

研究目的が明確であり、中国の医学・医療の向上に貢献したいと願い、かつ将来中国の医学・医療における指導者となるための素質を有していると認められること

応募時に希望する指導責任者から受入の内諾を得ていること

研究終了後は、日中両国の医学交流に積極的に貢献すると見込まれる者であること

## 6. 研究者の選考

協会と交流中心は、毎年以下の手順に従い、共同で研究者を30名を限度に選抜する

交流中心は、中国全土から選抜した本制度に相応しい候補者40名を協会に推薦する

協会と交流中心は、共同で面接試験を実施し、30名の候補者及び5名の補充要員を選考する

協会研究者委員会は、面接試験の結果を十分に尊重した上で、研究者を決定する

協会は、委員会の決定を速やかに交流中心に通知し、交流中心は、応募者に対し選考結果を通知する

## 7. 研究者の義務

日本での研究開始前に実施する語学研修への参加  
研究期間中、日本国法令を遵守すること  
協会並びに交流中心に対し、定期的に研究報告書を提出すること  
定められた日時に入国し、帰国すること  
研究者の行動規範・基準に則った高い倫理性をもち、管理者の承認のもとに責務を遂行すること  
帰国後は、中国の医学・医療の向上並びに日中両国の医学分野における友好と協力の促進に貢献すること

## 8. 経費負担

日本側が提供するもの  
入出国地から研究地までの日本国内一往復旅費  
研究者日本滞在期間中の奨学金  
日本側面接試験担当者の渡航経費  
その他協会が認める費用  
中国側が提供するもの  
来日・帰国時の日中間の一往復国際旅費  
来日前の語学研修の経費  
日本側面接試験担当者2名に係る4日間の中国国内経費  
その他交流中心が認める費用

## 9. 三者協議

本制度の円滑な実施のため、三者は年1回協議を行う。但し必要に応じ臨時協議を行う  
協議は毎年申請者募集の開始前に開催し、募集要項に必要な細目等について決定する  
開催地は原則として東京または北京とする  
三者は協議終了後、議事録を交わす

## 10. 受給資格の取り消し

協会と交流中心は、研究者が以下に該当するときは、協議の上資格を取り消すことができる  
奨学金辞退の申し出があったとき  
本要綱に定めた事項に違反したとき  
本制度研究者として相応しくないと認められたとき

## 11. 事務取扱窓口

中国側 中華人民共和国衛生部国際交流与合作中心  
日本側 財団法人日中医学協会

本制度を円滑に実施するため、三者は協議の上、必要に応じ本要綱を修正することができる。  
この要綱は、同等の効力を有する日本語と中国語で2種類作成し、三者が各1部ずつ所持する。  
本要綱は2007年12月27日に調印し、調印日から効力を発する。

財団法人 日中医学協会  
理事長 森岡恭彦 (署名)

財団法人 笹川記念保健協力財団  
理事長 紀伊國 献三 (署名)

中華人民共和国衛生部国際交流与合作中心  
主任 李洪山 (署名)

# 監査報告書

2007年4月1日より2008年3月31日  
までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基  
づいて適正に行われたことを確認しました。

2008年 4月22日

監 事 金 井 浄,  
公認会計士

監 事 齋 藤 洋,

監 事 杉 本 恒 明,

2007年度事業報告  
財団法人日中医学協会  
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町11-2  
TEL 03-3291-9161  
FAX 03-3291-9164  
発行日 2008年6月  
発行人 森岡恭彦